

# 信長生誕「勝幡城」

しよばたじょう

第10号 平成29年8月1日発行

発行 特定非営利活動法人 信長生誕を育む会

愛知県愛西市勝幡町塩畑2525番地

080-8265-2288(事務局)

<http://www.ooutsuke.org/>



信長生誕を育む会

## 名古屋城本丸御殿と 那古野城跡見学記

開催日：平成29年4月2日(日)

磯貝銀太郎

今回は、天守閣の木造復元が決まり、いま話題の名古屋城の見学会を催しました。

当日は素晴らしい晴天に恵まれ、桜の花が城内に咲き、新緑の樹木がさわやかな風を受けていました。

休日の観光日和であったため、全国からの大勢の観光客で大変賑わっていました。

「思いがけない名古屋が出来て、花の清州は野となろう」と今から約400年前、想定外の遷府に、当時の人々は戸惑いを感じながら口ずさんだそうですが、今日の姿は想像すら出来なかったでしょう。



慶長15年(1610年)、徳川家康九男、尾張藩祖 義直の城と城下町が造営されました。元、織田信長が居城した清洲から、世に言う「清州越」が始まりました。

さて、本会の恒川理事長他会員は、城の東門から入場しました。

二の丸庭園の横を通り、東南隅櫓、清正公石曳き像を見ながら、表ニ之門、南隅櫓、天守閣、本丸御殿、再建された、猿面茶室などを廻りま



した。その中で、実際に見学した建物は、天守閣と本丸御殿でした

まず天守閣に登り、天守閣から濃尾平野を一望しました。天守閣北側から清州城、小牧山城、岐阜城の三城すべての信長の城が見通せました。戦略上も大変有利な地点で、殆どの城が監視できる場所だと分かりました。

次いで階段を順次降り、各階の貴重な歴史展示物を見学しました。あまりにも多い展示物で、さすがに時間切れになってしまうくらいでした。やがて名古屋城も木造に建て替えられるので、現状は見納めになるでしょう。



本丸を後にして、次に「本丸御殿」の中を見

学しました。ここも観光客で大賑わいでした。真新しい木の香りさえ漂うばかりの木造の武家書院造りの豪華さに驚かされると共に、美しく優美な一流絵師による襖絵についてりとして、別世界を見るようでした。

その後、城内の各所を見ながら、御深井の猿面茶室へ行ったところ、ちょうど多勢の人々の茶会が開催中であり、外から外観を眺めるのみでした。実は元本会会員の高木幹雄氏が、この茶室の縮小模型を製作されました。(庭園部分は他の会員が作成)(資料を収集して研究をして、約2か月以上かけて、製作された労作です。)



この作品は、現在、信長にゆかりのある、清須市の日吉神社の本殿の中に奉納されています。もし興味のある方は、本会の会報で知った旨の説明をして、本神社にお許しが出ましたら、見せて頂いてください。

この茶室は、清洲城にあった時、茶室の床柱の節目の様態が、猿の顔に似ていることから「猿面茶室」と呼ばれていたそうです。信長が、秀吉の顔が猿顔であったので、この名前をつけたと言う話もあります。なお、この茶室は清州城の後、名古屋城に移され、次に末森入舟山(現、千種区見附町)に移築(明治5年)、のちに名古屋博物館(明治13年)、さらには鶴舞公園内に移築されました。残念ながら昭和20年戦災で焼失してしまいました。これがもし現存すれば、待庵、如庵と並んで茶室として最も古い部類であり、注目すべき遺構で国宝に指定される茶室だったと思われま

こうして、楽しく城内各所を回り、最後にま

たの再会を約して、各自思い出を胸に刻んで帰路につきました。



## 会の運営に携わってみませんか？

こんな方を募集しています！

- ・イベントの企画や運営に興味がある方
- ・会報の編集や発行に興味がある方
- ・ホームページの作成やパソコンの扱いに慣れた方

事務局で会の運営を支えてみたい方  
ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

## 会員になりませんか？

当会では随時、会員を募集しています。

正会員 年会費 1,200円

法人会員 年会費 12,000円

賛助会員(総会での議決権が不要な方)  
年会費 3,000円(1口当たり)

次のいずれかの方法でお申し込み下さい。

\*手紙☛ タイトル欄住所へお送りください。

\*電話☛ 080-8265-2288(事務局)

\*メール☛ [utsuke-kichou.inazawa@live.jp](mailto:utsuke-kichou.inazawa@live.jp)

お気軽にお問い合わせください♪

## 織田信長 勝幡城生誕説の証明

—那古野城跡の石碑から—

名古屋城内の二の丸庭園の前面に、那古野城跡の石碑があり、その脇に解説板が立てられている。

その文面は次の通りである。



### 那古野城跡

大永年間（1521～1528年）に今川氏親が名古屋台地西北端（名古屋城二の丸あたり）に築いた城で、一名「柳の丸」と言われ、一族の今川氏豊（義元の弟）を城主とした。

織田信秀（信長の父）は天文七年（1538年）この城を奪い、ここを居城とした。

「織田信長はそれ以前の天文3年（1534年）に勝幡城で生まれている」……「」内は筆者による註。

信秀は同11年（1542年）頃に古渡城を築いてこの城を去り、以後、嫡子 信長が居城していた。

弘治元年（1555年）織田信長が清洲に移った後は、一族の織田信光がしばらくの間居城していたが、やがて廃城となった。

名古屋市教育委員会

## 信長公記こぼれ話 第一話

信長公記は、織田信長の近臣、太田牛一の著作になる物で、信長の伝記の中で最も史実に近い物とされている。

本法人には、信長公記について造詣の深い、宮田浩臣氏がおられるので、宮田氏に講師になってもらい、平成27年9月6日、平成28年7月17日、平成29年3月5日の3回に分けて信長公記について勉強会を開催した。

その都度、会報により開催案内を出したが、都合のつかなかった人もかなりおられるので、今号より会報上でその一端をお伝えすることとした。

希代の英傑、織田信長の信長らしいところを特に選んで、毎号連載したいと考えているので、是非ともご一読を期待いたします。

1552年 天文21年3月3日、父 織田信秀死去。信長18歳。

父信秀42歳で病死、万松寺（現在は名古屋市中区大須に在り）にて葬儀。喪主信長、僧衆300名の大葬儀が行われた。その時の信長は遅れて来て、その上衣装たるや長束の大刀と脇差を腰に巻いた三五縄に差し、髪は茶筌に巻上げ、袴も履かずに仏前に現れ、抹香を掴んで祭壇に投げつけて帰ってしまった。

居合わせた列席の者共「信長公はやはり大うつけ者よ」と夫々が言い合った。

その列席者の中に筑紫の国（福岡県）の客僧がいた。その僧曰く「あの方こそ国を持つ人なり」と語った。

尚、父信秀は1548年（天文17年）末森城を築き、古渡城より、土田御前、次男の信行、宿老たちと共に当城へ移り住んでいたが病死した。

よって当城は信行と母の土田御前の居城となり、そのまま宿老たちも出仕した。

織田家の中で、信長はうつけ、たわけと言われていたが、真の資質を見極め、理解者であったのは、父信秀のみであった。

父の死後、信長は後見人をなくし、四面楚歌の状態に追いやられた。

織田家の相続人は弟の信行が有力となった。

信長生誕を育む会

検索



## 第7回通常総会開催

6月18日（日）13時30分より、愛西市勝幡地域防災コミュニティセンターにおいて開催されました。

議事の経過及び結果は次の通りです。

○第一号議案  
平成28年度事業報告及び決算報告の件  
原案通り承認されました。

○第二号議案  
平成29年度事業計画案及び収支予算案承認の件  
原案通り承認されました。

○第三号議案  
役員改選の件  
次のように原案通り承認可決されました。

理事 恒川鋭夫  
金原正和  
森 知徳  
監事 鈴木 睦

総会後の理事会における互選により、理事長に恒川鋭夫が選任されました。

○第四号議案  
定款一部変更の件  
法律に適合するように、変更案が示され、原案通り承認可決されました。

## 会費納入のお知らせ

平成29年度会費が未納の方は、お振込みをお願いします。

振込口座	三菱東京UFJ銀行 稲沢支店		
	普通	0087501	
名義	とくひのぶながせいたんはぐくむかい	特非) 信長生誕を育む会	
会費	個人	1,200円	
	法人	12,000円	
	賛助会員	1口3,000円	

※基本的に振込みにて納入をお願い致します。

※振込み手数料は各自ご負担ください。

※現金納入は領収書を発行しますが、振込については振込明細書を領収書に代えさせていただきますのでご了承ください。

## 編集後記

信長公の岐阜入城と岐阜命名450年で、信長公関連のイベントが開催中ですが、まだどれにも参加することが出来ていません。CGを駆使して再現した信長公居館の映像を上映されている、信長公ギャラリーには是非とも行ってみたいです！（長谷川）

会報を通して会員の皆様との交流をより深めたいと思います。メールでの投稿も受け付けておりますのでご応募ください。（信長への想いetc...）

お便りはこちら📧

nobunaga15340528@gmail.com

## オリジナルTシャツ好評発売中！

当会オリジナルの「信長Tシャツ」に新色が出来、好評発売中です♪  
色は黒、赤、緑の3色となっています。黒は2種類あり、前面デザイン入りは在庫限りとなっておりますのでお早めに申し込みください。

Tシャツ 価格：2,500円 色：黒 赤 緑 サイズ：S, M, L

ジャンパー 色：赤 サイズ：S, M, L 価格：4,300円

申し込みは… 📧 事務局 080-8265-2288 立松 090-7685-5420

メールで問合せ 📧 utsuke-kichou.inazawa@live.jp

